

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2012-236243(P2012-236243A)

【公開日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2012-051

【出願番号】特願2011-105410(P2011-105410)

【国際特許分類】

B 24 B 23/00 (2006.01)

B 25 F 5/00 (2006.01)

【F I】

B 24 B 23/00 Z

B 25 F 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月9日(2013.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハウジング内に、ギヤを一体に備えたスピンドルを軸支する一方、前記ハウジングに、前記ギヤに対する接離方向でスライド可能なロック部材と、そのロック部材を前記ギヤから離れる方向へ付勢する付勢手段と、を含み、前記付勢手段の付勢に抗して前記ロック部材を前記ギヤ側へ押し込み操作することで、前記ロック部材を前記ギヤに係合させて前記スピンドルの回転をロックするロック機構を備えた電動工具であって、

前記ロック部材を、前記ギヤに設けた貫通孔を貫通させることで前記ギヤに係合させる一方、前記ハウジング内に、前記貫通孔を貫通した前記ロック部材の端部が係止する係止部を設けたことを特徴とする電動工具。

【請求項2】

前記係止部を、前記ハウジングに取り付けた受け部材に形成したことを特徴とする請求項1に記載の電動工具。

【請求項3】

モータと、

前記モータにより回転するスピンドルと、

前記スピンドルと一体回転する貫通孔と、

前記貫通孔に貫通可能なロック部材と、

前記ロック部材が設けられるハウジングと、

前記ハウジングに設けられ、前記貫通孔を貫通したロック部材を係止するための係止孔と、を有することを特徴とする電動工具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、ロック部材を、ギヤに設けた貫

通孔を貫通させることでギヤに係合させる一方、ハウジング内に、貫通孔を貫通したロック部材の端部が係止する係止部を設けたことを特徴とするものである。

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 の構成において、係止部を、ハウジングに取り付けた受け部材に形成したことを特徴とするものである。

上記目的を達成するために、請求項 3 に記載の発明は、モータと、モータにより回転するスピンドルと、スピンドルと一体回転する貫通孔と、貫通孔に貫通可能なロック部材と、ロック部材が設けられるハウジングと、ハウジングに設けられ、貫通孔を貫通したロック部材を係止するための係止孔と、を有することを特徴とするものである。